

## このたび当院では新しく一般X線撮影装置に

## FPD（フラットパネルディテクター）を導入いたしました。

従来まではCR（コンピューテッドラジオグラフィ）装置にて撮影を行ってききましたが、昨今の放射線被曝への関心の高まりと呼応し、より被曝を低減する為にこのたび**キャノン**社製のFPD導入の運びとなりました。

**Canon** CXDI-701C Wireless  
Digital Radiography System



### ●さらなる被曝の低減

導入したFPDは**CsI**（ヨウ化セシウム）を採用した高感度・低線量タイプで従来のCR装置よりさらに**50～60%**ほど被曝を低減することができます

### ●高精細・高画質

ピクセルピッチ **125 μm**で高精細画像を表現し、マルチ周波数処理技術を採用し高画質な画像を実現しています。



### ●患者様の身体的苦痛を大幅減！！

従来の撮影では、1回ごとにカセットを交換する必要がありましたがFPDではそのまま繰り返し撮影を行えるため苦痛の低減につながります。また、CRでは撮影から画像が表示されるまで約90秒かかっていたのがFPDでは**2秒以内**で表示できるようになり、検査時間の短縮にも役立っています。

### ●胃X線撮影検査もFPD！

2014年に更新した島津製作所製X線透視撮影装置にもキャノンのFPDが搭載されており低線量・高精細・高画質で検査を行っております。当院では島津製作所の協力を得て**胃X線検査に最適化**した低線量モードを作成し、**さらに30%～40%の被曝低減**を実現しております。

受診される患者様の検査がより良いものとなるよう、また各種検診や人間ドックも安心して受けていただけるよう放射線科一同邁進してまいります。

2016年11月